



学校だより
第22号

棕の木

令和3年3月8日(月)
久留米市立御井小学校
校長 江島 陽子

『落書き消し隊』『みんなの役に立ち隊』活動中!

活動のきっかけは、通学路の壁に落書きがあることに気づいた子が、担任の先生に教えてくれたことでした。

先生が、そのままにせずみんなに尋ねてくれたおかげで、落書きをしてしまった子は正直に打ち明けることができました。そして、すぐに担任の先生と落書きを消しに行ってそのお家の方に謝ることができました。

その間、各学級でも指導する中で、校区内の数カ所に以前から落書きがされたままになっていることがわかりました。

3月の放送朝会では、落書きは、書かれた本人や落書きされたお家の方、落書きを見た人にもいやな思いをさせること、またそれだけでなく、落書きを見た人たちに、落書きをされた人に対する悪いイメージや偏見をもたせ傷つけてしまう可能性もあることを話しました。

そして、「落書きがあるとわかったからには放ってはおけないので、いっしょに落書きを消してくれる人を募集します。」と伝えました。

その結果、なんと、134名もの子どもたちが申込みをしてくれて、その一部の子どもたちと、3・4・5日の3日間に分けて昼休みに、落書きを消しに出かけました。子どもたちの“何とかしたい”“自分も役に立ちたい”と思う心がとてもうれしいです。「やりたいけれど、委員会の仕事があってできません」とわざわざ言いに来てくれた子もいました。もちろん、むりはしなくていい



のです。“できるときにできることを自分も”と考えて行動できる子どもたちになってくれたらと願いながらいっしょに活動しています。

落書きは、そんなにたくさんありませんので、その他の仕事もするよ、という子どもたちには、『みんなの役に立ち隊』になってもらっています。

左の写真は、早速、雨上がりの中休みに運動場の整備をもらった時のものです。そのおかげで、昼休みからは運動場で遊ぶことができました。